



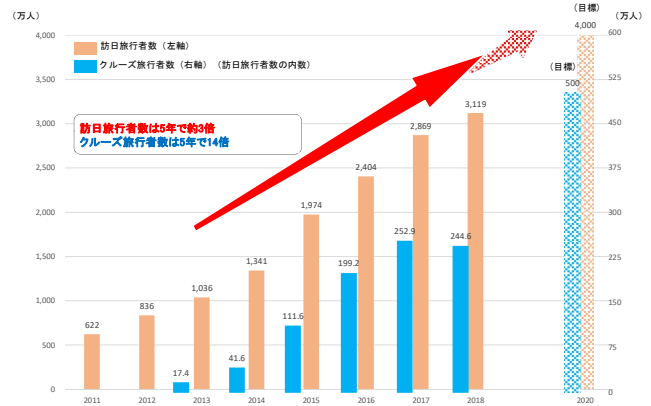
官民連携による 国際クルーズ拠点の形成（横浜港）

クルーズ新時代の実現 ～訪日クルーズ需要の増大に対応～

クルーズ船の受入環境の整備を推進 官民連携による国際クルーズ拠点の形成

- ✓ 近年、訪日外国人旅行者数は大きく増加しており、クルーズ船による訪日客も増加傾向（2018年のクルーズ旅行者数は244.6万人、旅行消費額は1,034億円）
- ✓ 訪日クルーズ旅客の2020年に500万人という目標達成に向け、官民連携によるターミナル整備等を推進
- ✓ 横浜港では、大さん橋だけでは増加するクルーズ船に対応できなくなってきたことから、官民連携による新港ふ頭の再整備や山下ふ頭を活用し対応するほか、横浜ベイブリッジを通過できない大型クルーズ船については、大黒ふ頭の自動車船用岸壁を活用できるよう対応

【訪日外国人旅行者の推移】



【横浜港のクルーズ船受入機能の強化】

